



## 7 学校自己評価（1月）

学校自己評価で振り返ろう  
自分たちの教育活動を！

学校自己評価によって学校の教育活動を振り返ります。学校評価システムにおいて、自分たちのこれまでの教育活動を見直す最も重要な部分です。

ここでは、子どもの姿と学校の取組状況を把握し、取組の成果、課題を明確にすることが大切です。

### 学校自己評価は 職員みんなで 取り組もう

学校自己評価を行うには校長のリーダーシップの下、全教職員が参加して取り組むことが重要です。校務分掌毎に各評価項目の学校自己評価に取り組み、全体でその結果を検討することが、学校組織の活性化にもつながります。校内評価委員会などをうまく活用し、評価に係る時間や労力を少なくする工夫も必要です。

資料P53

### 学校自己評価では、児童の姿、教育活動を振り返ろう

- ① 年度当初に設定した、評価の観点別に具体的目標・具体的方策を用いて、目標の達成状況や達成に向けた学校の取組状況を把握・整理します。
- ② 外部アンケートなど児童生徒、保護者、地域住民の意見や感想を学校自己評価の資料として参考にします。
- ③ 数値目標の向上をめざすだけでなく、数値によって定量的に示すことのできないものにも焦点をあてましょう。
- ④ 目標や各種計画、評価の観点・具体的な目標の設定そのものが適切であったかどうかについても、評価の対象となります。
- ⑤ 日常の教育活動の中で課題が見つかったら、評価の実施時期にとらわれず、速やかに改善に取り組みましょう。
- ⑥ 学校自己評価の取組において、目標設定と評価結果の公表だけでは、保護者に不安感を抱かせることにも考えられます。途中の達成状況や取組状況も保護者に伝えましょう。
- ⑦ 一人一人の教職員が自分の取組について評価することも大切です。自己目標申告書の目標に照らして、学校自己評価を行いましょう。

### 学校評価総括表で 学校自己評価の結果を伝えよう

学校自己評価結果をまとめて、学校評価総括表を作成しますが、学校関係者評価や保護者への公表を考え、委員専門的な用語はなるべくさけ、分かりやすく記述するようにしましょう。

資料P55、P56



## 7 学校自己評価の実施と総括表実践例

〇〇小学校

学校自己評価がメインです。外部アンケート等の資料をもとに議論しましょう。

【学校自己評価書作成の上で重視したこと】

- 1 全教職員で分担して、一年間を通して評価に取り組んだこと
  - ・ 校務分掌に従い担当責任者がその項目について評価責任者として、継続的に評価を行い改善に取り組んだ。
  - ・ 評価の内容については、結果を公表すると共にデータ化し、誰もがいつでも見ることができるようにし、様々な場面で参考とした。
  - ・ 明確になってきた改善点は、どのような手だてをとって改善していくか、全職員で意見を交換し、取り組むようにした。
- 2 今後の課題・改善点
  - ・ 全職員に「評価項目、評価の観点、具体的目標、評価内容、・基準」の共通理解ができていたのか若干の疑問が残る。
  - ・ 本校の学校評価の特徴として評価項目ごとにそれぞれの職員が分担して評価するシステムを採っているが、分担された項目を職員が十分理解しているのか疑問が残った。
  - ・ 学校自己評価の項目については、当事者意識を高める工夫が必要ではないか？  
例えば
    - ①「〇〇小学校の子どもたちは挨拶が良くできている」⇒「私は、〇〇小学校の子どもたちが挨拶が良くできるように日々指導した」
    - ②「学校は、教育目標をわかりやすく伝えている」⇒「私は、本年度の重点教育目標を知って、それを実践につなげようとしている」
    - ③「子どもは、授業がよく分かっている」⇒「私は、子どもが『勉強がわかる』と思っている、と思う」 ※当事者意識を高める工夫
  - ・ 学校評価についての全体的な改善策の必要性を感じる
    - ① 各項目内容が理解しやすく、実践しやすい内容か？
    - ② 項目内容が多すぎて、果たしてより良き学校改善につながっているか疑問が残る
    - ③ 学校外の教育力を効果的に活用し、外部評価を学校自己評価に生かせる環境を工夫する。

